

令和7年(2025年)12月19日

札幌市市民文化局
市民生活部消費生活課
TEL: 011-728-2111

令和7年度 年末年始における生活関連商品の需給動向・価格見通しについて

札幌市では、生活に密着した食品等の生活関連商品の価格の動向を的確に把握し、市民に情報提供するため、業界団体や事業者の協力を得て、年末年始における各商品の需給動向及び価格見通しに関する調査を行っております。

この度、本年の調査結果について、下記のとおり取りまとめましたので、お知らせします。

記

1 御協力いただいた業界団体及び事業者

- ・ 札幌みらい中央青果株式会社
- ・ カネシメ高橋水産株式会社
- ・ 札幌食肉卸業協会
- ・ ホクレン農業協同組合連合会
- ・ 北海道製麺協同組合
- ・ 日糧製パン株式会社
- ・ 札幌地方石油業協同組合

2 調査時期

令和7年11月下旬

3 概要

(1) 青果物

前年と比べ、17品目中、安値1品目、やや安値5品目、前年並み3品目、やや高値3品目、高値5品目となった。天候の影響による出荷量の減少によりやや高値～高値の品目が多い傾向にある。

(2) 水産物

前年と比べ、14品目中、前年並み1品目、やや高値7品目、高値6品目となった。円安や不漁の影響によりほとんどの品目についてやや高値～高値の傾向となっている。

(3) 畜産物

前年と比べ、8品目中、前年並み1品目、やや高値3品目、高値4品目となった。国産豚肉は昨年に続き価格相場が北海道内における過去最高水準を更新、鶏肉は国産・輸入ともに高値で推移している。

(4) その他食料品

前年と比べ、7品目中、前年並み1品目、やや高値4品目、高値2品目となった。人件費及び原材料費の高騰によりやや高値の品目が多い傾向にある。

(5) 灯油

やや高値の見込み。

令和7年度 年末年始における生活関連商品の価格見通し 一覧表

	安値	やや安値	前年並み	やや高値	高値
青果物	はくさい	みかん だいこん きやべつ 長ねぎ レタス	にんじん れんこん さつまいも	ごぼう ほうれん草 きゅうり	生しいたけ 里いも みつば ばれいしょ たまねぎ
水産物			味付数の子	飯寿司 まぐろ いか たこ たらばがに スマーカサーモン 板かまぼこ	新巻さけ いくら 赤えび はまち ほたて こんぶ
畜産物			輸入豚肉	国産牛肉 国産豚肉 ロースハム	輸入牛肉 国産鶏肉 輸入鶏肉 羊肉
その他 食料品			小麦粉	黒豆 生そば ラーメン パン	もち米 鶏卵
				灯油	

※ 価格見通しの用語基準

前年並み = 前年同期比±5%未満

やや安値・やや高値 = 前年同期比±5~15%未満

安値・高値 = 前年同期比±15%以上

※ 品目ごとの需給動向については別紙「令和7年度 年末年始生活関連商品の需給動向」を

ご覧ください。なお、別紙に掲載されている以外の内容・詳細については当課ではお答えいたしかねますので、ご了承ください。

令和7年度 年末年始生活関連商品の需給動向

品目	価格見通し	需給動向
はくさい	安値	昨年はキャベツの高値の影響から例年以上の単価だったが、今年は安定した供給を見込む。
みかん		主力商品である和歌山県産に関しては、不作傾向のため、年末の数量については前年並みかやや少ない見込み。
だいこん		昨年に比べて豊作のため、安定した入荷の見込み。
きやべつ		各産地とも生育良好のため、豊作傾向。単価が高騰していた前年と比較するとやや安値の見込み。
長ねぎ		昨年の価格が高騰傾向にあったため、昨年よりは低い値段の推移を見込む。
レタス		全国的に豊作となっているため、安定した入荷を見込む。
にんじん		千葉県産中心の入荷。生育遅れではあるが、作柄良く前年並みの入荷量を見込む。
れんこん	前年並み	茨城県産中心の販売。年内は潤沢な入荷を見込む。
さつまいも		茨城、徳島産中心の入荷。平年並の入荷を見込む。

令和7年度 年末年始生活関連商品の需給動向

品目	価格見通し	需給動向
ごぼう	やや高値	生育期の天候不調により、入荷量減少の見込み。
ほうれん草		生産原価の上昇のため、産地からは例年よりも高値での販売を求められており、例年に比べやや高値を見込む。
きゅうり		年末の入荷量は前年並みの見込み。 ※天候不順が続いた場合、入荷量の大幅な減少及び価格高騰の可能性あり。
生しいたけ		生産コスト増により各産地より値上げの要請が来ている。他のキノコ類が品不足の為、しいたけの引き合いが強い。
里いも		埼玉県産は不作、千葉県産は平年並みの作況。年末の出荷量は少なく、高値推移を見込む。
みつば		全国的な作付減に加え、生産期の暑さの影響もあり出荷量は減少しているため、前年より高値での販売となる見込み。
ばれいしょ		北海道産が生育期の高温、干ばつの影響により小玉での成育となつたため、出荷量の減少を見込む。
たまねぎ		北海道産が生育期の高温、干ばつの影響により小玉での成育となつたため、出荷量の減少を見込む。

令和7年度 年末年始生活関連商品の需給動向

品目	価格見通し	需給動向
味付数の子	前年並み	原料が不足気味のため、安価な商品の取扱いは昨年に比べて少ないものの、製品価格は一部地域を除いて前年並みと思われる。
飯寿司	やや高値	原料が高騰しているため昨年よりやや高値の見込み。
まぐろ		為替の影響により冷凍まぐろ(輸入品)の価格が上昇しているため、生鮮まぐろの価格にも影響が出るとの予測。
いか		漁獲枠制限が発生した影響から11月後半から価格が高騰した。
たこ		春先より水揚げが少なく昨年よりも高値で推移している。11月以降の水揚げ次第だが、年末需要により、さらに高値になる可能性有り。
たらばがに		ロシア産たらばがにの国内搬入減少に伴い昨年より10パーセント程度値上がり。円安の影響も有り。
スマーケサーモン		原料が高騰しているため昨年よりやや高めの見込み。
板かまぼこ		主原料となるスケソウダラ等の輸入原料が円安の影響で高値で推移していることに加え、燃料費、人件費の高騰で値上げ傾向にはあるものの消費者の節約志向が強く値上げは限定的。

令和7年度 年末年始生活関連商品の需給動向

品目	価格見通し	需給動向
水産物	新巻さけ	原料となる国産秋鮭の水揚げ不漁(昨年実績の3割程度)の影響を受け、生産数量減・価格高騰の状況。
	いくら	原料となる国産秋鮭の水揚げ不漁(昨年実績の3割程度)の影響から、輸入原料の需要が高まり価格が高騰。製品価格は引き続き高値推移となる。
	赤えび	海外漁業者の労使交渉が難航し、生産が大幅に遅れたことから入荷数量が例年の約60%程度になり、単価が上昇。
	はまち	高水温による死滅や成長遅れにより養殖ものが減産した結果、価格が高騰している。
	ほたて	アメリカ・台湾等輸出向けの引き合いが強く、また主力生産地のオホーツク地区の減産のため高値傾向。
	こんぶ	生育不良・漁獲不漁による前年の高値傾向が続いており、特に羅臼・利尻昆布については値上がりが顕著。不漁の理由としては、生育不良に加え、今夏の突発的なゲリラ豪雨により生育が良い昆布が流されてしまったことが考えられる。

令和7年度 年末年始生活関連商品の需給動向

品目	価格見通し	需給動向
輸入豚肉	畜産物	前年並み 海外の食肉処理・加工業者の多くが減産、為替の影響もあり価格は高値安定している状況だが、国産豚肉も相場が高いことから輸入品／国産品で使用比率に変化はなく、結果的に輸入豚肉の価格も昨年並みで推移している。
国産牛肉		低価格帯のホルスタイン種の頭数減少から、より高価格帯の交雑牛や和牛にシフトしている状況であり、相場自体が上昇している。
国産豚肉		今年度は道内の相場が過去最高に達したまま、高値で推移。また、国産鶏の相場高の影響で、国産豚への需要が増えている。
ロースハム		原料高騰から商品の値上げラッシュが続いている。
輸入牛肉		為替の高値安定による輸入品の価格高騰に加え、他国に買い負けをしていることから国内の単価が上がっている。
国産鶏肉		主要な食肉事業者で銘柄鶏を取扱う割合が増えていることもあり、過去最高値で推移している。
輸入鶏肉		国産鶏の相場高騰の影響で輸入鶏の需要が増えていることと、国内在庫が少ないとから、過去最高値で推移している。
羊肉		為替の高値安定と、食肉処理・加工業者における生産頭数減により相場が高騰している。

令和7年度 年末年始生活関連商品の需給動向

品目	価格見通し	需給動向
その他 食料品	小麦粉	前年並み 米国産小麦の良好な生産状況等を背景に、政府の小麦売渡価格は10月に引き下げられ、小麦粉価格は1月の改定に伴い若干値下がりする見込みだが、販売価格は昨年並みを見込む。
	黒豆	やや高値 前年と比較し、道内の作付面積は増えているものの、市場に出せる良品の減少や、兵庫県をはじめとした他県の丹波黒豆の作付面積が減っていることから、販売価格はやや上昇する見込み。
	生そば	
	ラーメン	
	パン	物流費、人件費、光熱費、原材料費(特にそば粉や塩などの副材料、小麦以外の材料)の高騰により、やや高値になっている。
	もち米	高値 補助金によりエネルギーコストは上昇しなかったものの、最低賃金の過去最大の引き上げ等により、人件費や物流費が上昇しているため、製品価格は前年に比べやや高値となっている。
	鶏卵	全国的なもち米作付面積の減少から価格が上昇。もち米の使用用途によって状況は異なるが、主食用途を中心に品薄感が高まり、全国的な市中相場も前年対比で上昇している。

令和7年度 年末年始生活関連商品の需給動向

品目		価格見通し	需給動向
石油製品	灯油	やや高値	需要は年々減少。価格はやや高止まり傾向が続くと見られるが、製油所の稼働も順調に推移しており供給面での問題はない。